

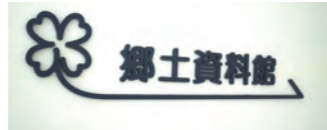


守口市立
よつば小学校
校長 山本容子

地域と学校をつなぐ



まちなかサロン



まちなかガーデン

地域の皆さんが活用できる「まちなかサロン」。「郷土資料館」は、地域の皆さんが作りあげる空間。「よつば小学校区」の新たな地域づくりを進めます。

よつば小学校として3年目を迎え、いよいよ新しい校舎でスタートすることになりました。

校舎をめぐる、よつばの幸せをイメージした愛くるしい“葉”のデザインの中に教室名や案内表示などが記され、校章に込められた思いが、すみずみまでいきわたっていることに気付かされます。

校章の中央の円は、光輝く情熱の“太陽”四方に広がるふくよかな四枚の葉は、人として大切にしてほしい“素直さ”“明るさ”“やさしさ”そして“正しさ”の心を表現しています。これはみずみずしい緑の葉が豊かな自然の中で大きく育ち、一つ一つがそれぞれの味わいを醸しだすように、一人一人の子どもが自身の夢や希望を叶えるべく、しなやかにたくましく生きる力となることを願って考えられたものです。

このような創立当初に込められた熱い思いや願いを心に留め、今後も、子どもたちの笑顔あふれるよつば小学校をつくりあげていきます。

学びの空間を立体的につなげる アクティブステップ



メディアセンターに連なり、上下の階をつなぐスキップフロア形式の空間。視線・動線を意識した空間づくりにより、広い範囲の活動の様子を感じ取ることができ、学習意欲を高めます。全ての階が結び付き、学年を越えたつながりを育みます。

メディアセンターに連なり、上下の階をつなぐスキップフロア形式の空間。視線・動線を意識した空間



よつば小学校

新しい校舎で
スタート



まちなかにあり、まちとともに学び、主体的な活動と地域との協働により、人間性を育む学校

学校全体の学びの場 メディアセンター

校舎の中心にあり、どこからも行き来しやすい配置で、自ら調べ答えを探す、主体的な学びのための拠点。

メディアセンターの主体となる図書スペースは中間フロアである2階中央に設けられています。

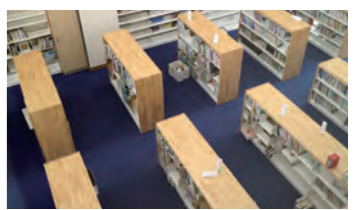
吹き抜けを介し、異学年の児童が交流できる空間とし、学んだ成果や作品を展示する場や見せる楽器庫など、同じ興味を持つ児童が集い、話せるスペースをつくっています。



PC教室



ランチルーム



作品保管・展示スペース